

(3) 成人病センター

① 所在地 長崎市淵町 20 番 5 号

② 沿革及び施設の概要

ア 沿革

明治 18 年 12 月 コレラが流行し長崎県が避病院を開設し、患者を隔離収容
 明治 25 年 4 月 長崎県が市へ建物土地を無期限無償で貸与し長崎市避病院を開設
 明治 33 年 12 月 長崎伝染病院として常置開設
 昭和 12 年 12 月 長崎市長崎病院に改称
 昭和 20 年 8 月 原子爆弾被爆により全館焼失
 昭和 23 年 1 月 病院焼失跡地に復興建設
 昭和 36 年 5 月 長崎市立長崎病院に改称
 昭和 43 年 4 月 地方公営企業法の一部（財務）適用
 昭和 45 年 4 月 原爆被爆者健康管理所開設
 昭和 48 年 4 月 成人病検診を開始
 昭和 49 年 2 月 人工腎臓透析を開始
 昭和 54 年 4 月 新本館完成・長崎市立病院成人病センターに改称
 平成 7 年 4 月 心臓血管外科を標榜、透析室増床
 平成 11 年 4 月 法の改廃により併設する隔離病舎を廃止し、新たに感染症病床 6 床を設置、泌尿器科を標榜
 平成 14 年 3 月 原爆被爆者健康管理所廃止
 平成 15 年 4 月 地方公営企業法の全部適用、呼吸器科及び消化器科を標榜
 平成 17 年 7 月 一般病床 11 床を減床、亜急性期病室を整備
 平成 18 年 7 月 結核病床 60 床を 30 床へ減床
 平成 20 年 4 月 NST（栄養サポートチーム）稼動施設認定
 平成 23 年 4 月 5 階病棟を休床

イ 施設の概要

(単位：m²)

区分	構造	建築面積	延床面積	敷地面積
本館	鉄筋コンクリート造 地下 1 階・地上 5 階建	2,022.55	6,844.20	12,359.37
中央棟	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 3 階建	793.30	1,646.45	
南病棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	1,064.61	1,850.70	
計		3,880.46	10,341.35	12,359.37

③ 所管事務の概要

長崎市立病院成人病センターは、明治 18 年、避病院（単独伝染病院）の開設を契機に、明治 33 年 12 月常設の長崎伝染病院となり、以後は、本市の医療環境の変遷に応じて、昭和 24 年 9 月結核病棟及び一般病棟を、昭和 45 年 4 月原爆被爆者健康管理所を設置する等、逐次、特色のある医療機関として地域住民の健康保持に貢献してきた。

その後、医療水準の向上に伴う結核患者及び伝染病患者の減少の反面、脳卒中、心臓病、癌等の成人病患者が著増する傾向に即応して昭和 48 年 4 月成人病

検診を開始し、続いて、昭和49年2月人工透析室を設置した。昭和54年4月には成人病センターとしての機能を擁する本館が完成するところとなり、従来とは面目を一新し、更に充実した医療を提供できることとなった。また、近年心臓血管外科設置のニーズが高くなったことに伴い、平成7年に心臓血管外科を開設した。平成11年4月には、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律が施行され、伝染病予防法が廃止されたことに伴い、併設する隔離病舎を廃止し、新たに感染症病床を設置した。

また、救急告示病院として、2次救急患者を収容する役割も果たしている。

ア 診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、泌尿器科、放射線科、血液内科、腎臓内科

イ 病床数（176床、うち一般病床44床を休床）

一般病床140床、結核病床30床、感染症病床6床